

## 災害用トイレマンホールカバー施工手順

## アルミ鋳物製ベンチ RBEWC-SC

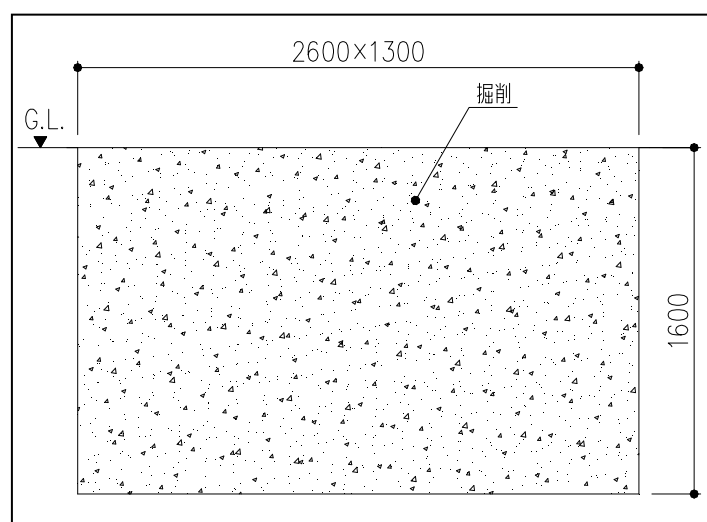
第一機材株式会社

## 【 測量 】

荷重条件・地下水位を調査し、理想の施工方法を検討する。

## 【 掘削 】

G. L. - 1600、2600×1300  
で掘削する。  
掘削後、転圧をする。

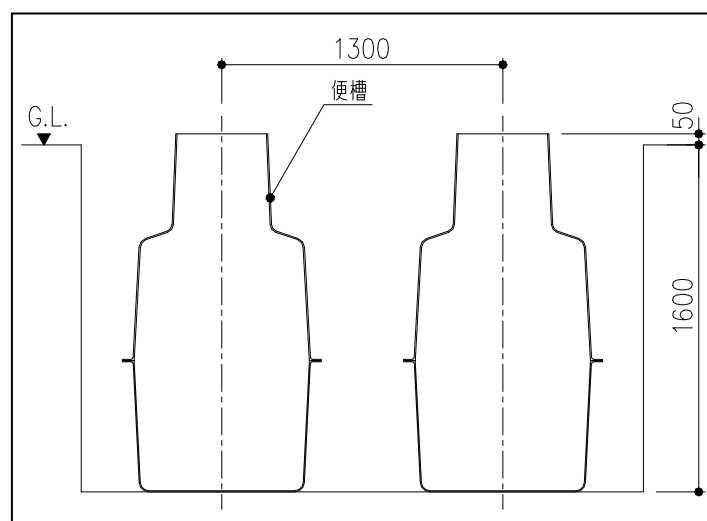


## 【 便槽設置 】

FRP製の便槽を設置する。

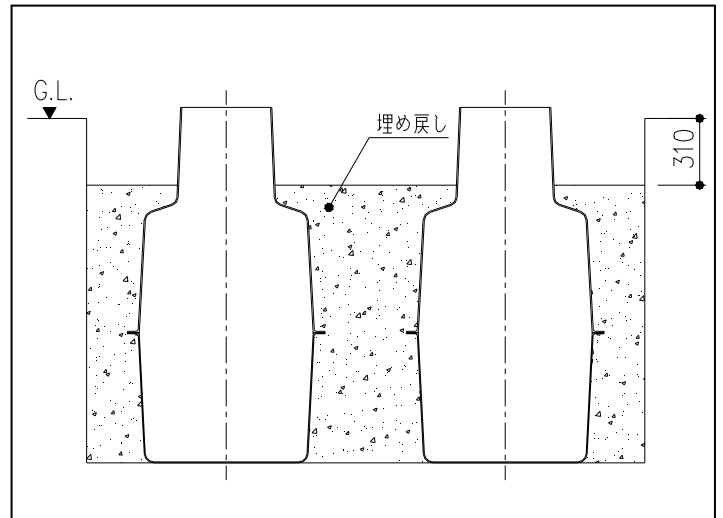
可能であれば、便槽設置後、便槽内に  
水を張る。

(便槽のズレ防止および、土圧対策のため)  
水は施工後、ポンプにて排水する。



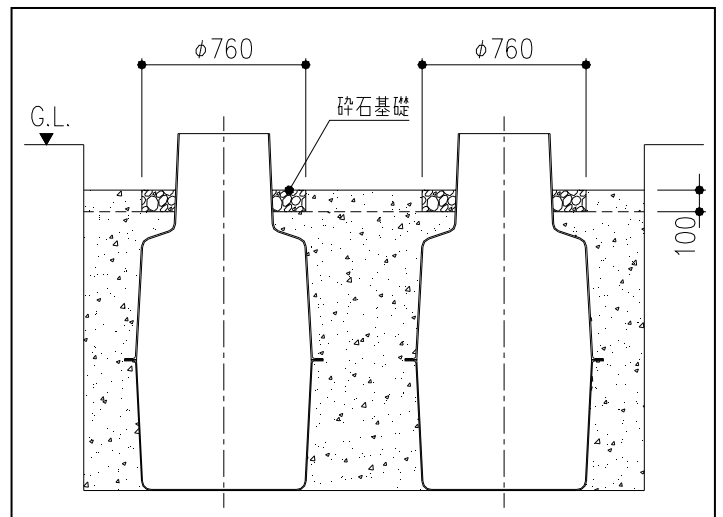
### 【 埋め戻し 】

G. L. - 310 まで埋め戻す。  
埋め戻しの際、施工後の地盤沈下防止のために厚 300 毎に転圧しながら埋め戻す。



### 【 上部砕石基礎 】

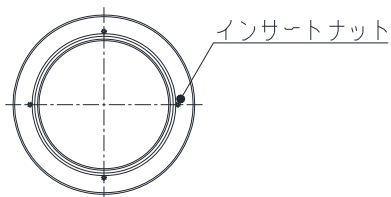
砕石を便槽口の周りに  $\phi 760$   
厚 100 敷き均す。  
敷き均し後、転圧する。



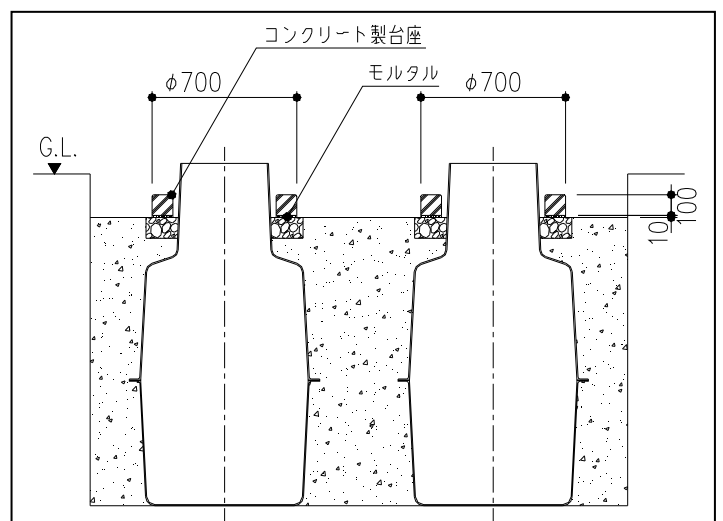
### 【 コンクリート製台座設置 】

砕石基礎に貼り付けモルタルを施工し、  
コンクリート製台座を設置する。

※コンクリート製台座は、正面に対して  
下図のように設置してください。



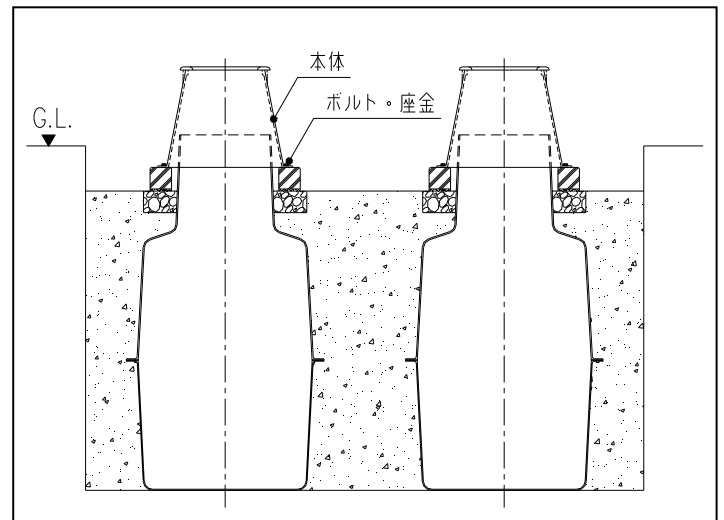
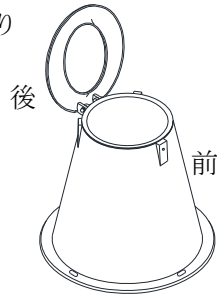
正面



## 【 本体設置 】

本体をコンクリート製台座に固定する。

※『前後』の向きがありますので、ご注意ください。



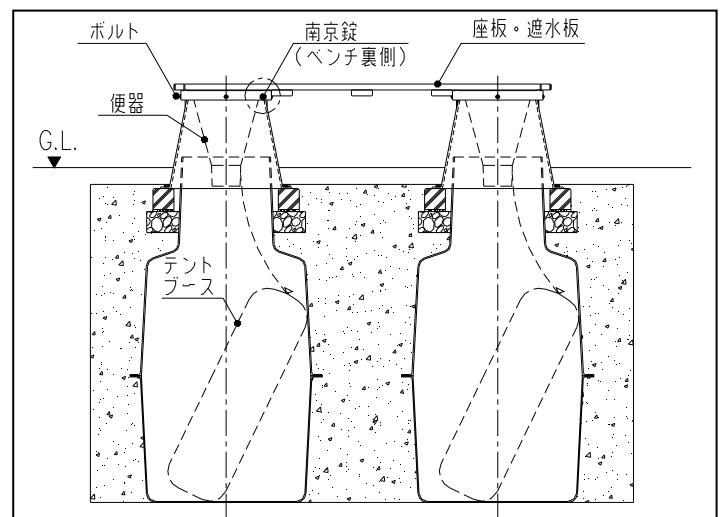
## 【 仕上げ 】

任意の舗装にてG. L. まで仕上げる。

本体内側の吊下げ金具に、テントブースを吊下げる。なお、テントブースが宙吊りにならない様にする。(便槽の底につける)

便器を設置し便座を下ろし、座板+遮水板を設置する。

座板+遮水板を3方向から穴付きボタンボルト (M8×30) 3本で締め付け固定し、南京錠1個を施錠する。



## 【 完成 】